

成果区分「研究」の成果名と成果概要一覧

成果名	主担当 研究室	成果概要
ペーस्ट二段施肥における茎数制御及び収量と総籾数の関係	環境・土壌	ペーस्ट二段施肥における下段割合の増加や疎植は茎数制御に効果的である。 また、ペーस्ट二段施肥は生育後半の肥効が少なく、千粒重が小さいため、粒状一発側条施肥と同程度の総籾数である場合、粒状一発側条施肥と比較して収量はやや低下する。
水稲経営における圃場面積に応じた主要作業時間予測法	作物	大規模水稲経営体においてKSAS 連携農機等から取得した作業ログデータから作成したデータベースを基に、水稲圃場面積に応じた耕うん、田植、収穫にかかる作業時間を予測できる。
ジシアン・反応緩和剤入り肥料を用いた「コシヒカリ」の生育特性	環境・土壌	「コシヒカリ」栽培において、プラスチックを含まないジシアンジアミド・反応緩和剤入り肥料は前半の肥効は大きいですが、後半の肥効は小さいと想定される。精玄米重も全量基肥肥料と比較して、93%～96%の精玄米重である。
県内発生コムギ赤かび病菌のチオファネートメチル感受性	病虫	令和4～7年に採集した県内発生コムギ赤かび病菌において、チオファネートメチル100ppm以上の培地上で菌糸生育する菌株は見られず、薬剤耐性菌の発生は認められない。